



JREU TOKYO 業務部速報



2026.07.05 No.057

発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申第15号 「上野統括センターにおける乗務ユニットの統合について」に関する申し入れ団体交渉を行う(その②)

(田端乗務ユニット) → 田端(上野乗務ユニット) → 上野と読み替える

2.7月1日以降、組合員・社員個々の乗務業務の習得状況について、適宜コミュニケーションを図ると共に、本人が不安を抱かない教育体制とすること。

(回答)社員の習熟状況については、引き続き、管理者や指導担当が把握するとともに、必要によりコミュニケーションを図っていく考えである。

組合	会社
臨時線区の乗務範囲と技量維持はこれまでの上野の把握方法で把握するのか	田端は乗務線区が広いので全てではないが、現行の上野の方法で臨時線区の乗務範囲把握と技量維持を行う。 確認
上野としてしっかり3H(初めて・変更・久しぶり)に対して技量維持の対策を取ること。	必要な教育は行う。 確認
11月から1人乗務と決めている話はあるのか?	そのような話はない。例年であればダイヤ改正がある時期までに全員が1人乗務できればいいと考えている。

3.田端乗務ユニット組合員・社員の線見期間中は、駅兼務を行わないこと。また駅兼務を再開する時には、本人の了承を得てから行うこと。

(回答)引き続き、必要な教育・訓練を実施していくとともに、社員の状況や習熟度等を勘案し、総合的に判断していく考えである。

組合	会社
線見期間中、駅兼務は実施するのか?	実施して頂く。
<ul style="list-style-type: none"> 未来永劫やめろと主張しているのではない。上野での主たる業務は定期行路への乗務である。今は線見に集中するべき。一人乗務ができるようになってから駅兼務を再開するべきだ。 東京地本は、線見中の駅兼務は認めない。 乗務員からの兼務がなければ勤務が回らないほど、駅の要員はひっ迫しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 主張は受け止める。一定程度継続して担って頂きたい。融合したものを縮小することはやりたくない。上野乗務員にも乗務と駅兼務を行っている事を見せて頂きたい。 乗務員からの兼務者がいなくても、駅の勤務に穴が開かないように調整することは十分可能である。
線見期間中に、田端駅の分任など駅でも新しい業務の見習いをさせるのか。	線見中に、駅で新たな業務の見習いに就くことはない 確認
駅兼務がある中で、線見に集中しないと覚えられないと申告を受けた場合は?	線見を優先させる。1人乗務になる事が目的で一致しているか?
優先順位は線見が上であることは認識一致しているのか。	その通りだ。線見が優先である。 確認

会社は運転士の線見を軽視している！駅兼務をしながらできるだけ簡単なものではない！！
安心して教育を受けられる体制の確立、鉄道の安全の確保のために、線見期間中の駅兼務には反対します。

新たな問題が発生した場合は指摘をする。その場合は、労使で議論することを確認！

その③へ続く